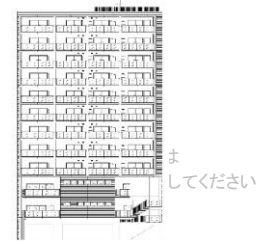


| 1-1 建物概要 |                    | 1-2 外観 |                |
|----------|--------------------|--------|----------------|
| 建物名称     | (仮称)海老名中央三丁目プロジェクト | 階数     | 地上12F          |
| 建設地      | 海老名市中央三丁目1425番3    | 構造     | RC造            |
| 用途地域     | 商業地域、防火地域          | 平均居住人員 | 110人           |
| 地域区分     | 6地域                | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 事務所、集合住宅           | 評価の段階  | 実施設計段階評価       |
| 竣工年      | 2020年8月 予定         | 評価の実施日 | 2019年3月1日      |
| 敷地面積     | 661㎡               | 作成者    | 生和コーポレーション(株)  |
| 建築面積     | 239㎡               | 確認者    |                |
| 延床面積     | 2,190㎡             |        |                |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項   |               |                         |
|--|---------------|-------------------------|
| 総合   | その他           |                         |
| 必要部位に断熱材を設け建物の熱負荷抑制に配慮し、設備には効率の良い機器の採用による一次エネルギー消費量削減を図った。 |               |                         |
| Q1 室内環境  | Q2 サービス性能     | Q3 室外環境(敷地内)            |
| F★★★★の建材をほぼ全面的に採用  | 耐久性のある給排水管の採用 |                         |
| LR1 エネルギー  | LR2 資源・マテリアル  | LR3 敷地外環境               |
| 断熱性能等等級四   | 分別が容易な工法の採用   | 適正な量の駐輪、駐車スペースを敷地内に設けた。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される